

インフィニウム 企業倫理方針：贈収賄、汚職防止、および人権に関する件

インフィニウムグループの重要な基本方針の一つは企業倫理に関するものです。この基本方針は、弊社が世界中のどこでビジネスを行う場合でも、適用される法律および最高の誠実さを遵守し、ビジネスを行う基準を定めるものです。これには贈収賄や汚職を厳重に禁止し、人権を尊重することが含まれています。弊社は、ビジネスパートナー様、協力会社様、販売代理店様がインフィニウムとの取引の際、またはインフィニアムの代理として行動する場合と同じ高い基準で自ら行動することを求めています。

本状は、インフィニウムとの取引を行う企業または弊社を代理する企業としての貴社に、インフィニアムの贈収賄、汚職、および人権に対する姿勢をお知らせすることを目的としています。

本企業倫理方針の概要は以下の通りです（全文は別紙および人権および現代の奴隷制度に関する声明をご覧ください）。

- インフィニアムの従業員は、直接、間接を問わず、賄賂、ファシリテーションペイメント（行政機関等での手続きの円滑化を目的とした少額の支払い）、キックバックその他の不正な支払いの申し出、請求、受入、または支払いを行ってはなりません。
- インフィニウムは、取引先企業または弊社を代理する企業に、(1) インフィニウムとの取引もしくはインフィニウムを代理して行う取引に関して、直接、間接（代理店または第三者を介するなど）を問わず、いかなる理由においても、いかなる形態の賄賂、キックバック、ファシリテーションペイメントその他の不正な支払いの申し出、請求、受入、または支払を行わないこと、および、(2) その従業員、役員、代理人、販売代理店、および協力会社によるそのような行為を防止するための予防措置を設けることを求めます。これらの要求は、国内ビジネスまたは国際ビジネスにおける行為であるか否かを問わず、官僚や公務員が関与する取引、および公的企業または民間企業を代表する者が関与する取引にも同様に適用されます。
- インフィニウムは、取引先企業または弊社を代理する企業に、(1) インフィニウムとの契約に関する行為もしくは意思決定に影響を与えることを目的として、インフィニウムもしくはその関連会社の従業員、家族もしくは第三者との間で、高価な贈答品、豪華な接待または支払いや便宜の申し出、請求、受入、供与を行わないこと、および、(2) 従業員、役員、代理人、販売代理店、および協力会社が取引の行動または意思決定に影響を及ぼすことを目的に、贈答品の供与もしくは申し出、

または接待、支払、貸付その他の対価を提供することを防止するための方針および規程を設けることを求めます。

- インフィニウムは、取引先企業または弊社を代理する企業に対して、インフィニウムと取引を行うそのすべての従業員、役員、代理人、販売代理店、および協力会社に、贈収賄と汚職に関するインフィニアムの方針、要求、期待事項を認識するよう徹底させることを求めます。
- インフィニウムは、現代の奴隷制度を含む人権侵害が業務活動において存在しないよう、効果的なシステムと管理を導入することに尽力します。現代の奴隷制度は様々な形態を取り、奴隷、隷属、人身売買、強制および義務労働を含みます。弊社のサプライチェーン全体での取り組みの一環として、インフィニウムは、全ての契約業者、サプライヤー、その他の業務提携企業が同様に厳しい基準を保ち、各自のサプライヤーにも同等の厳格な基準を要求することを求めます。

弊社は、貴社が本状および添付書類の方針および人権に関する声明を慎重に検討され、インフィニアムの要求と厳格な贈収賄と汚職、および現代の奴隷制度の禁止について完全に理解いただくことを求めます。不遵守は大変深刻な問題として受け止められます。インフィニアムの従業員または契約業者が本状に記載されたポリシーに違反していることに気付いた場合、または違反していることを確証する理由がある場合は、reports.hr@infineum.com にメールを送信し、インフィニアムに報告する必要があります。

今後、コンプライアンス状況を確認するためにデュー・ディリジェンスを実施させていただく場合には、本件に関して貴社のご理解、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

[インフィニウム 社員の名前を挿入]

[インフィニウム 社員の職位を挿入]

添付書類

別紙

企業倫理

当社の本方針は当社のビジネスに適用されるあらゆる法律の厳格な遵守を表明するものです。

当社の方針はここに記載されているものに留まりません。法律が許容している場合でも、当社は最も誠実な方針を選択します。当社は地域の慣習、伝統などが場所によって異なることを認識しています。しかしながら、慎重な取引を行うという確立された評判は当社の貴重な資産であると考えます。

従業員は、当社が得られた結果だけでなく、どのようにして結果が得られたかについても配慮しているということを理解していなければなりません。また、従業員は、帳簿や記録にあらゆる取引を正確に記録しなければならず、経営陣ならびに当社の内部及び外部監査人に対して誠実であり、正直である必要があります。当社は、従業員が法律または企業方針の違反の疑いを上司に報告することを求めます。

当社は、組織全体において誠実さの基準の遵守を求めており、法律に違反して成果を達成したり、不正行為または詐欺的行為を行う従業員を容認しません。かかる行動の例としては、金銭その他の資産の不正流用または不正使用、および帳簿もしくは記録の操作または改ざんが挙げられます。当社は、倫理基準に反する機会や利益を拒否する従業員や、当社の倫理基準の実際の違反または違反のおそれを上司に知らせる従業員を支持します。また、そのような従業員の行動を各従業員が支持することを求めます。

同様に重要なこととして、当社は、従業員に対して、あらゆるレベルにおいて正直であり、当社の方針、経理に関する規則および管理に従うことを求めます。当社の経営システムは公正であって初めて機能し、特に財務、技術、生産情報の作成は公正かつ正確である必要があります。当社の帳簿や記録の改ざんまたは記録されない銀行口座の作成もしくは維持は厳格に禁止されています。

当社は贈収賄と汚職に関して明確な見解を示します。従業員は、賄賂の申し出、受入、請求、支払を行ってはなりません。従業員による直接または間接のいかなる形態の賄賂の申し出、受入、請求、支払も禁止されています。当社は取引先企業にも同様の行動基準を求めます。また、従業員を支援するため、贈収賄および汚職防止の遵守に関するガイドラインを提供しています。

企業倫理方針：贈収賄および汚職防止ガイドライン

当社は贈収賄と汚職に関して次の通り、明確な見解を示します。従業員は、賄賂の申し出、請求、受入、支払を行ってはなりません。従業員による直接または間接のいかなる形態の賄賂の申し出、請求、受入、支払も許容しません。当社は合弁企業、代理人、コンサルタント、その他の協力会社を含む取引先企業に対しても当社の贈収賄及び汚職に関する方針の遵守を促進するものとします。

当社は適用されるすべての法律及び規制を遵守し、贈収賄や汚職と闘う取組みに関する国際組織（例えば、OECD 多国籍企業行動指針（OECD Guidelines for Multinational Enterprises）、国際商業会議所の強要及び汚職と闘う行動規定（International Chamber of Commerce Rules of Conduct to Combat Extortion and Bribery）など）の原則を支持します。

贈収賄および汚職の行為または申立ては当社の評判に深刻なダメージを与えかねません。

ファシリテーションペイメント（円滑化のための支払い）

当社の方針は賄賂といわゆる「円滑化のための」支払いとを区別せず、後者も禁止対象となります。ファシリテーションペイメントとは、正式には必要とされない公務員に対する少額の支払い（多くの場合、現金で行われる）のことであり、当公務員が実行する義務のある慣例業務を可能にする、または迅速化することを目的としたものです。当社は、取引先企業が当社に代わりファシリテーションペイメントを行わないよう徹底することについても努めています。

本方針およびガイドラインの実施において、従業員は以下を実行するものとします。

－ いかなる理由によるものでも、直接または間接を問わず、賄賂、ファシリテーションペイメント、キックバックその他の不正な支払いの申し出、請求、受入、支払いを行わないこと。キックバックとは、優遇措置と引換えに提供される金銭、贈答品、または価値ある物品・サービスの授受のことです。

これは、国内ビジネスにおける行為であるか国際ビジネスにおける行為であるかを問わず、外国もしくは国内の官僚または公務員（国有企業の役員または従業員を含む）が関わる取引、および公的企業または民間企業を代表する者が関わる取引にも同様に適用されます。

－ 当社の贈答品および接待に関する方針を遵守すること。また、贈答品もしくは価値ある物品・サービスの授受、または接待の授受について確信が持てない場合は、ラインマネージャーの助言を求めること。

- リスクに基づいた適切なデューディリジェンスにより、当社にサービスを提供する取引先企業の状況と誠実さについて従業員自身が納得すること。また、当該取引先企業が当社の賄賂と汚職（ファシリテーションペイメントを含む）に対する見解を理解するよう徹底すること。このプロセスにおいて何らかの質問がある場合には、ラインマネージャーまたは法務部に相談すること。
- 当社内における活動または取引先企業との取引において、当社の本方針について過去に違反があったかもしれない、または将来違反するかもしれないリスクがあるとの懸念がある場合は、ラインマネージャーまたは人事部に報告すること。
- 賄賂もしくはファシリテーションペイメントの申し出、受入、請求または支払を当社に代わり間接的に行うために、代理人または他の第三者を利用すること。
- 賄賂を隠蔽したり、賄賂に代わるものとして慈善寄付を利用しないことを徹底すること。

コンプライアンス（遵守）

当社は、すべての取締役、役員、従業員に当社の贈収賄と汚職に関する方針を遵守することを求めます。賄賂の申し出、請求、受入、支払を行っているまたはその他の汚職行為に加担していると判明した従業員は懲戒処分を受けるものとします。これは最終的には解雇や、該当する場合には刑事手続に到ることがあります。

また、当社は、合弁企業、代理人、コンサルタント、その他の協力会社を含む取引先企業に、当社の方針を認識していること、および取引先企業自らの方針を設けることを求めます。したがって、上級経営陣は、第三者およびその従業員に対し当社の贈収賄および汚職に関する方針を積極的に促進するものとします。

人権および現代の奴隷制度に関する声明

インフィニウムは、形態に関わらずすべての人権侵害に強く反対し、現代の奴隷制度を一切許容しません。

現代の奴隷制度は多くの国において犯罪とみなされており、基本的人権の侵害です。これは、奴隷、隷属、強制および義務労働、人身売買など様々な形態を取ります。

インフィニウムは、全ての業務取引と提携関係において倫理的で高潔な姿勢を保ち、現代の奴隷制度が業務活動において存在しないよう、効果的なシステムと管理を導入することに尽力します。弊社のサプライチェーン全体での取り組みの一環として、インフィニウムは、全ての契約業者、サプライヤー、その他の業務提携企業が同様に厳しい基準を保ち、各自のサプライヤーにも同等の厳格な基準を要求することを求めます。

インフィニウムは、人権における立場を明記したインフィニアムの基本方針を採択しています。特に、企業倫理方針は全ての関連法規に準拠することを要求しており、法律によって許容される場合、インフィニウムは最高の高潔さに基づき行動することを選択します。

インフィニアムの基本価値観もインフィニアムの業務活動を規定しています。倫理に関する基本価値観は、インフィニウムが全ての法規に従い、最高の倫理基準に基づいて行動することを求めています。基本価値観である「人の尊重」は説明が不要です。インフィニウムは背景、人種、性別、文化に関係なく人々を尊重し、これらの差異に基づく差別は一切許容しません。

上記に関するインフィニアムの立場は、以下に要約、定義されます。

- インフィニウムは普遍的な人権の保護を指示し、尊重します。これには、同僚社員、活動地域のコミュニティ、業務提携組織が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- インフィニウムはいかなる形態の人権侵害にも強く反対します。